

＜人権教育にかかわる年間指導計画＞

【基本的な考え方】
 教師と児童、児童同士の望ましい人間関係を育て、自他の生命を尊重する心情・態度を育成するために、体験学習や心揺さぶる機会や場を設ける。



【年間指導計画作成のための方針】
 ○児童の望ましい人間関係の育成のために、授業において、児童が関わり合う学習活動を行うようにし、共に学び合うことの大切さを実感することのできる指導を展開していく。
 ○生命を尊重する心情と態度を育成するために、保健体育と道徳の授業の指導の関連を図る。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級生活の向上を図るとともに、自己のよさを発揮するために、係活動を充実させる。					次期最高学年としての自覚を段階的に高めていくように意識付けをし、学校や学級、下級生を大切にしている心情を育んでいく。						
各教科	国語「いつか、大切なところ」 学び合いを通して、友達の考えを知る。 主人公の心情を理解する。		理科「生命のつながり」 誕生の瞬間を知り、生命の神秘を実感する。			国語「大造じいさんとがん」 主人公の心情を理解する。 生き方を考える。		社会「自動車を作る工業」 誰にでも使いやすい自動車を考える。		保健「こころの健康」 自他の心情をみつめる。		国語「みずささがしの旅」 筆者の心情を理解する。 生き方を考える。
総合的な学習の時間	国際理解 外国について調べよう		国際理解 日本の伝統芸能を調べよう			国際理解 雪国について調べよう		学校を知ろうプロジェクト 6年生から伝統を引き継ごう				
道徳	「思いやり・親切」 友達と仲良く助け合う。	「自然愛護」 動植物や自然を大切にしようとする態度を育てる。	「郷土愛」 先人や高齢者に尊敬と感謝の念をもつ。		「国際理解」 我が国の素晴らしさに気づき、他国の文化の違いを知る。		「生命尊重」 生命の大切さを考え、よく生きようとする心情を養う。					
特別活動	「クラスのめあてを決める」 自分や学級の目標を考え、話し合う。		「自分のクラスを見つめて」 よりよい学級にするために考え、話し合う。			「6年生に向けて」 卒業式の練習や送る会の経験を通じ、次期最高学年になる学級や自分を振り返る						
学校行事等	挨拶運動（通年） 挨拶を通して温かい人間関係の基礎をつくる。											
	1年生を迎える会		ふれあい月間		ふれあい月間		ユニセフ募金 自ら可能な貢献について考える。		ウィンタースクール 宿泊生活を通じて協力の大切さや他者理解を深める。		6年生を送る会 感謝の気持ちを育む。	
保護者・地域との連携	<保護者会4・2月>家庭からの連絡等から児童一人一人の実態を把握する。											
	<4、9、1月>生活のきまりについて説明する。											
	<個人面談7月 個人面談12月>家庭からの連絡と学校からの報告により、家庭との連携を強化する。					<道徳授業地区公開講座10月> 人権教育・道徳教育について説明する。		学習発表会 「表現」「鑑賞」				